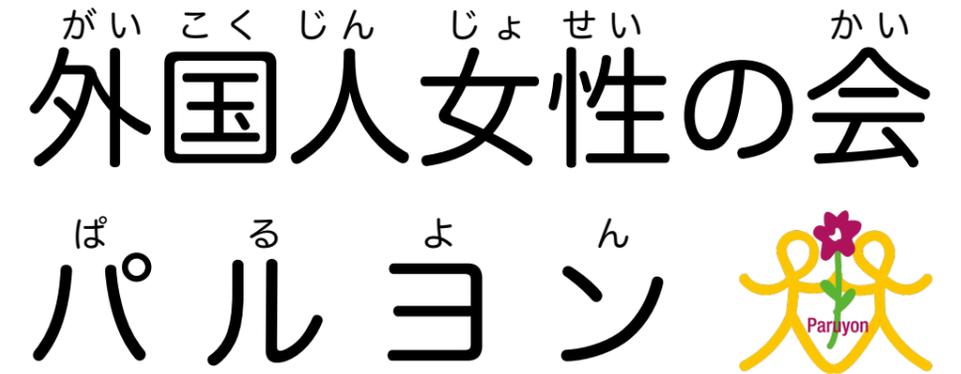


事業名

「となりの外国人とのおつきあい」 ワークショップ

実施団体



地域で暮らす外国人は、年を追うごとに増加しており、町内会や消防団、また、窓口対応のある施設など様々な場面でも、外国人居住者との適切なコミュニケーションの必要性が高まっています。

外国人女性の会パルヨンは、これまでの外国人住民の支援に加え、2017年度から、日本人向けの取り組みを始めました。「となりの外国人とのおつきあい」ワークショップは、2018年3月に発行した日本人向けガイドブック「となりの外国人とのおつきあい」を使い、「外国人が近所に住んでいたら、交流したい」と思いつつも「コミュニケーションの不安と習慣の違いから、積極的になれない」という日本人の悩みに応え、日本人も外国人も住みやすいまちをともに作っていききたいという願いを込めて、実施したものです。

クイズ：どのように伝えますか？

ある日、ゴミを出しに行くと、近所に引っ越してきたばかりの外国人が京都市指定でない袋でゴミを出そうとしていました。あなたは正しいゴミの出し方を伝えようとしてます。

A 京都市指定のごみ袋を購入し、「資源ごみ」と「燃やすごみ」に分別します。それぞれ透明の袋と黄色の袋に入れ、そのごみが回収される曜日に出してください。

B 京都市のごみ袋を買ってください。ごみを「資源ごみ」と「燃やすごみ」に分けます。「資源ごみ」はリサイクルできるごみです。透明の袋です。「燃やすごみ」は黄色の袋です。そのごみを集める日に出してください。



C 京都シティのガーベッジバッグを買ってください。ごみを「リサイクルタイプ」と「ファイヤータイプ」に分けます。「リサイクルタイプ」はクリアーバッグです。「ファイヤータイプ」はイエローバッグです。そのごみがコレクトされる曜日に出してください。

ガイドブック「となりの外国人とのおつきあい」より



日本人向けガイドブック「となりの外国人とのおつきあい」は、上京区役所で無料配布をしています。また、パルヨンのホームページから、PDFを全ページダウンロードできます。
https://paruyon.jimdo.com/tonarinogaikokujin/



→答えはポスター2枚目へ

外国人女性の会 パルヨン 主催

この事業は、「平成30年度上京区民まちづくり活動支援対象事業」として採択を受け、実施するものです。



開催スケジュール

第1回
日時 2018年10月28日(日) 14:00~16:00
場所 京都佛立ミュージアム(京都市上京区)

第2回
日時 2018年11月18日(日) 14:00~16:00
場所 be 京都(京都市上京区)

第3回
日時 2018年12月9日(日) 14:00~16:00
場所 上京区役所総合庁舎 4階 会議室

内容は、各回とも同じものですが、グループワークでは、テーマによって、それぞれ別の作業を行います。何回でも参加していただき、別のごとにチャレンジしていただくことができます。各開催場所の詳しい地図は、お申し込み受付のメールにてご連絡を差し上げます。また、1月と2月には、京都府下の他の市町村での開催も予定しています。

参加費 無料
2018年度は参加費無料で実施します。来年度以降は、参加費等をいただく予定です。

定員 各回 申し込み先着順 20名

近くに外国人が住んでいたら……?

- 交流したい
- コミュニケーションの不安がある
- 習慣の違いをどのように伝えたらいいのかわからない
- ゴミの捨て方や避難場所など、地域の情報を教えてあげたい
- 町内会に誘いたい

外国人にとってわかりやすい「やさしい日本語」を使ってコミュニケーションする方法を、みんなで楽しく学びます。

ワークショップの内容

- (1) 挨拶、主旨説明
- (2) トーク
外国人の、地域に住んでみた体験談
- (3) 「やさしい日本語」の簡単な説明
- (4) テマごとにグループワーク
 - ① 初めての挨拶
 - ② ゴミ出しのイロハ
 - ③ 災害時はココへ!
 - ④ 町内会加入大作戦!
 - ⑤ その他
- (5) グループごとに成果を発表
外国人を相手に練習も兼ねて成果を発表!



お問い合わせ・お申し込み office@paruyon.com

メールにて、タイトルを「ワークショップ申込み」とし、必要事項を記載の上、お申し込みください。

- 1) お名前
 - 2) ご連絡先(メールアドレス又は電話番号)
 - 3) 参加希望回、日程(「第1回 10月28日」)のようにお書きください
 - 4) グループワークでチャレンジしたいテーマ 以下のうち1つを選んでください。
 - ① 初めての挨拶
 - ② ゴミ出しのイロハ
 - ③ 災害時はココへ!
 - ④ 町内会加入大作戦!
 - ⑤ その他(①~④以外で、具体的にやってみたいテーマがあれば、お書きください)
- なるべくご希望に沿ったテーマにチャレンジしていただけますが、ご希望に添えない場合もあることをご了承ください。

🔴 上京区に居住する外国籍住民の国籍別内訳 (2016 年度)

上京区には 90 カ国以上の外国籍住民が在籍しています。



国立国語研究所の全国調査 (2010 年)

定住外国人が理解できる外国語

「日本語ができる」 62.6%

「英語ができる」 44.0%

「中国語ができる」 38.3%

ワークショップ「となりの外国人とのおつきあい」当日スライドより

皆が英語を話すわけではありません。
地域に住む外国人にとって、共通言語は日本語。
「やさしい日本語」だと、もっと伝わりやすくなります。

参加者には、外国人に対して「英語で話さないといけない」という先入観をなくしてもらうため、まずはデータを基に、外国人といっても英語を第一言語とする人はそれほどいないことを説明しました。ほとんどの外国人住民にとっては、日本語も英語も、外国語であることにはわかりません。このようなデータを基に、日本に住む外国人にとっての共通言語は日本語であることを説明し、外国人にとってわかりやすい「やさしい日本語」についてのレクチャーを行いました。その後、参加者同士で外国人ゲストを交えたワークを行い、コミュニケーションについて考えてもらいました。

外国人ゲストは、日本語初級程度の学習者です。参加者にはその場で外国との文化の違いを学習しながら、普段の日本語の伝わりにくさや「やさしい日本語」の伝わりやすさについて体験してもらうことができました。

※「やさしい日本語」とは？

誰にでもわかりやすく配慮した日本語のことです。日本に住んでいる外国人の中には、日本人同士の日常会話やニュースの言葉はまだ聞き取れなくても、この「やさしい日本語」ならわかるという人が多いのです。文章の作り方のコツは…

- ① 1つの文をなるべく短くする
- ② なるべく熟語を使わないで、簡単な言葉を使う。
- ③ 方言は使わない。尊敬語・謙譲語は使わない。
(使わなくても失礼ではありません)

→ 1枚目クイズの答え

正解は **B** **A**は熟語が多く一文が長過ぎます。できるだけ、簡潔な一文をつなげる形で説明してください。**C**はカタカナ語が多くかえって分かりにくいです。外国人と話すとき、伝えやすくしようとカタカナ語を多用しがちですが、まずは「やさしい日本語」でゆっくり丁寧に伝えてみてください。

カタカナ語は本来の外国語と発音や意味が大きく違うことがあるので**注意**です。たとえば「パソコン」「エアコン」「コンビニ」「サラリーマン」などです。



【第1回】2018年10月28日 京都佛立ミュージアム (京都市上京区)

参加者 20名



【第2回】2018年11月18日 be 京都 (京都市上京区)
上京区が運営するサイト「上京ふれあいネットカミング」で紹介された。

参加者 17名



【第3回】2018年12月9日 上京区総合庁舎 (京都市上京区)
NHKの取材があり、2月から3月にかけて、「おはよう日本」や「NHK WORLD」等で放送された。

参加者 24名